

しましまいるか

柏葉まろみ

はじめに

2003年に柴十郎によってかかれたヤフー掲示板の投稿、
ならびにそれをブログに移植し、後にリンク切れとなってしまった
作品”しましまいるか”を、ここに推敲ののち再びアップロードします。

ネタが古くなってしまったものや、当時の記事についてネタ話を
しているがそのリンク先が切れているものについては掲載しない
方針です。

”しましまいるか”とはなにか？

2003年・・・

一介の広末ヲタだった柴十郎（性別不詳・・・としておきます）は、広末のバッシングのさまを目にし黒幕はバーニングだとピンときた。そしてさらに、バーニングがマスコミへの脅しを依頼した別の同盟者がさらにいるだろうということを予測した。

「周防郁雄に頼まれて、広末涼子のマスコミ叩きを担当したが今は袂を分かってカタギになって、某記者の前で独白している、元ヤクザなエージェント」というキャラクター”Aさん”を設定し、またAさんにインタビューしている若手記者というキャラでしましまいるか（略してしましま）という相方キャラをつくった。もちろんフラッシュの写写丸のような、筆者柴十郎の分身キャラだ。

そしてこれが掲載されたのが今は亡き？ヤフー掲示板の芸能カテゴリ。のちに纏められてネット上にあがったのが「オフレコ」というサイトで別名”しましまいるか””simairuka”と呼ばれているもの。

2013年・・・

大日本新政会のサイトを読んだ柴十郎はびっくらこいた。なぜならそのサイト主が、言ってることといい文自体から醸しだされる雰囲気といい、自分が十年前に想定したキャラと全く同一だったからだ。

あーあー、信じてくれないだろうな――
今そのサイトのコピーをあげたとしても、今の状況を知って後で直したんだろ！って言われるのがオチだと思うね。

[ミス世界一吉松さんバーニング幹部に脅迫される★6](#)

A>

なんか広末さんはまだ入籍してないみたいだね。どうしちゃったんだろう。

しましま>

うーん、やっぱり岡沢って怪しいと思うんですよ。今思うとあのコワモテ芸映の目を気にせずに広末さんと堂々と付き合えるなんて、芸映の青木社長でさえも簡単には手出しができないような、もっと強い後ろ盾がないと絶対不可能だったと思うんですよ。でもって、まあ、思い当たるところはひとつしかないわけで

A>

例のアノお方んところ？岡沢一味がバーニングの工作人員だったってこと？

しましま>

そうです。広末側事務所としては岡沢はとにかく疎ましい輩のはずなんだけど、別れさすことはおろか子供を作ることすら防げなかったし、また彼に何の制裁も課すこともできていない。だから岡沢と彼をとりまく"ダチども"には、広末サイド以上の余程強いバックが裏についていたと考えるのが自然ではないでしょうか？広末のバックだって結構怖いですから、岡沢の裏に何もついてないとすると、力関係からいったら絶対に 広末側 > 岡沢 になりますよ。そんな状態で妊娠までさせて彼がいままで何の制裁も受けてないなんて普通に考えてありえますか？芸能界ってそんなにカタギな業界でしたっけ？

A >

んー（苦笑）。でも芸映やフラームが基本的に"芸能界で生き残る決め手はあくまで実力"っていう、"放任主義"のスタンス取ってるのならば、たとえ岡沢君のバックに誰もいなかろうと、今までの経過って全然不自然じゃないと思うんだけどなァ。要はワキが甘いってだけじゃん。タレントの"防衛費"をコストカットしすぎて墓穴をほってるだけなのかもしれないし...

しましま>

でも"ピロちゃんたらしこみプロジェクトのバックにバーニング事務所説"というこの僕の仮説が、もし本当だったとしたならばですよ、広末事務所サイドがどうして今までの彼女の男関係に手出しできなかったのかが、違和感なくすっきりと説明できると思うんですよねえ。

A >

うーむ。なるほど

A>

こうやって話すと、人生ってなかなか奥深いものがあるね。

で、話は飛ぶけどさ、その僕らが言う”ピロちゃんたらしこみプロジェクト”の話をつき進めていくとさ、どうしてもあそこに触れざるわけには行かなくなってくるんだよね。

しましま>

わかってますよ。何を指すかはなんとなくですがね。いずれにせよ、そこに行き着くのはわかってましたし……。でも別に、それ以上触れなくてもいいんじゃないかって気もするんです。そこまで行かなくても、今までの分析で我々は十分にいいところまでたどりつけたような気がします。

A>

僕は正直って怖いんだよ。僕だってもし”あのお方”が目の前にいたら、答えてもらいたいことはたくさんあるさ。でも、それ言っちゃあダメだろうなって思う。「あなたのところのタレントが常連だと噂される、瀬〇グループ系列店の〇ユーズ、同じく瀬〇グループとかかわりがあって、ついこの前放火された歌〇伎町内の某雑居ビル、そして雑居ビルと同じように放火された、〇一ニングプロダクションの本社。これらの相互のかかわりについて、あなたは どうお考えですか？」って。そりゃ聞きたいさ！でもそんなこと、聞けるわけないだろって。しかもそんなことに、向こうが答えてくれるわけ、ありやしねえって！答えてくれないんだから、当然われわれがあれこれ詮索する必要も、無い。だからいいんだよ！知る必要なんかないんだよ。まったくもって、君の言ったとおりだね。

しましま>

.....

A>

黙ってしまいましたな...まあいいや。

とにかく、これは我々の取り扱える範囲を遙かに超えてるわけで、手の届く領域じゃあないんだ。だからといって見過ごしていい・・・というわけでも、ない。警察、司法当局に任せておくべき

問題だと。公僕にがんばってもらえないと。そういうことだよ

しましま>何か汗かいてきちゃいました。

A>

僕もだよ。なんかどっつかれが出てきちゃった

A>

岡沢君をはじめてみたときに僕は、広末さんが写真週刊誌とかカメラ小僧とかストーカーみたいなのにあまりにも狙われてるんで、それに青木さんや井上さんが耐えかねて、とうとう用心棒として組の若い衆を雇ったんかと思ったけどね。あの上背と面相でにらまれたら確かに写真記者は逃げるわな。

しましま>

ははは。究極のボディガードってことですか。でも今までの伊勢谷とか金子とかと比べると、売れっ子芸能人ってわけじゃないから素人に顔知られてない。ってことは多少荒っぽいことしてもOKってことですよ。 ”おい、何撮ってんだコラ！カメラのネガ渡せ！”とかね。確かに用心棒としては最適だったかもしれないです。広末さんも奴がそばに居たんでのびのびと羽を伸ばせたんじゃないかな。

A>

でもあの手の顔って建築現場行けばいつでも見られるタイプだよ。どっちにしろカタギ顔じゃない。

しましま>

ははは・・・。

でもなんか夢がありますよね。普通の男が岡沢のこと見て”あれくらいなら自分でも超えられそうな気がするよな・・・”て思いがちだし、ってことは自分もアイドルの嫁さんもらうチャンスが皆無ってわけじゃなくなる。そう思うと人生楽しくなってくるかも

A>

でもまったくの凡人じゃあだめだろうね。とにかく容姿や才能に自信のある女性ってのは、男には年収とか甲斐性とか社会的体面とかそういうモノとは別のものを求めるんだよ。普通にちやほやしてあげても、それってアイドルや女優って、いつもやってもらってることだからなんとも思わない。だから勝負になんないんだよな。

しましま>

たしかに。すでに芸能人として十分立場築いている人は、いまさら格上との相手の結婚によって自分のポジションをゲインするなんてことに対しては、くだらなさすぎてモチベーション湧かないのかもしれない。だから高級じゃないんだけど凡庸でもない、“普通だけど特別な人”を伴侶に選ぶ

A>でも二流芸能人の、金持ちやスポーツ選手をゲットするための手練手管のあれやこれやの噂聞くとさ、何かうんざりするものがあるよね。どうしてそのエネルギーを、芸の向上とかいった、もっと他のまじなことに使えないのかな・・・って。

しましま>

だから二流なんでしょう。結婚に逃げずに芸一本でやっていくつもりならば、若いうちから劇団に所属して演技を磨いたりとか、とっくにやってないとおかしいはずなんですよ。

A>

グラビアクイーンとかファッションモデルってのは、所詮実力で勝負ができてないから、将来に閉塞感が出てきちゃって、玉の輿とかの選択肢がないととてもじゃないけど芸能人をやってられないんだろうね。

しましま>

かもしれないですよ。